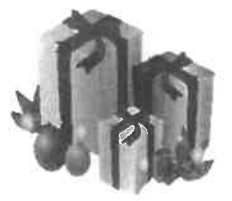




# 12月の園だより



## 今月の予定

令和3年12月1日  
さかえ保育園

1日(水)	体操教室
2日(木)	
3日(金)	
4日(土)	
5日(日)	
6日(月)	
7日(火)	
8日(水)	体操教室 食材紹介:れんこん、みかん
9日(木)	生活発表会練習(乳)
10日(金)	生活発表会練習(幼)
11日(土)	
12日(日)	
13日(月)	生活発表会動画撮影(乳)
14日(火)	生活発表会動画撮影(幼)
15日(水)	体操教室 箸指導(4) 南瓜の種取り(3) 白菜ちぎり(2, 1)
16日(木)	大根いちょう切り(4) 乳児健診
17日(金)	英語教室 キャベツ色紙切り(5)
18日(土)	
19日(日)	
20日(月)	体の仕組み(幼)
21日(火)	誕生会
22日(水)	体操教室 冬至の話(幼)
23日(木)	英語教室
24日(金)	クリスマス会
25日(土)	
26日(日)	
27日(月)	
28日(火)	
29日(水)	年末休み
30日(木)	年末休み
31日(金)	年末休み

一年最後の月になりましたね。いろいろ振り返ることの多い月です。昔ほど忙しくなくなる感じがしないのは年末年始が子どもの頃に比べてそれほど楽しみではなくなってしまったのでしょうか。子どもの頃はクリスマスを楽しみにし、お正月に親戚と会えた時、お年玉をもらえるのが嬉しかった思い出があります。街場の路地で子どもたちの声が飛び交い、空き地で凧を上げ遊んだ記憶が蘇ります。ご家庭ではどのような遊びで子ども達と楽しめるのでしょうか？年末年始家族揃って素敵な時間を過ごせると良いですね。例年通りとはいかないであろう保育園の行事も通常も通常通りの計画と並行して時勢に合わせた行事のあり方を模索しながら計画しています。特に、3学期に向けて各々に進捗するにあたり身につけていきたい物事や、卒園を控え小学校に向けて準備が必要となるゆい組のお友達は、行事を交えながら大きくステップアップを固らなければなりません。現在、国の子ども達の教育のプロセスを検討する委員会では、就学前の児童をすみやかに学校教育に馴染ませていくにはどのようにすべきかということを検討しています。来年早々には一定に形を示し、教育要綱、保育要綱に盛り込んでくると思われます。現場の小学校教員からはこの程度の事は身につけて進学して欲しいと言う事を依頼されています。簡単に列挙すると

クリスマスってなんのお祝い？ クリスマスって何月何日？ お正月って何するんだっけ？  
お正月にお参りするの神社？お寺？ 自分の誕生日って何月何日？  
自分のお名前は字でかける(ひらがな)？ ん？ん？ん？

園長は何を言っているんだと思われる親御さんもうらっしゃるかもしれませんが、新1年生が入学してきた時に教員達が頭を抱える頃の第1位だそうです。保育園でも同じ質問をすると

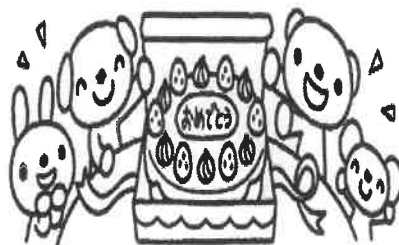
クリスマスって何する日だっけ？…ケーキ食べる日！！  
お正月って何する日だっけ？…お金いっぱいもらえる日！！(うらやましい)  
お誕生日は何月何日？…わかんない  
お誕生日は何をする日？…ケーキを食べる日！！(やっばい)

こんな感じです。

親も含めた大人達が当たり前だと思って教えることをおざなりにしていると、命懸けで産んでくれた母に感謝する日を知らないと言い放ってしまう子どもになってしまいます。

大人の当たりまえは子どもにとって新鮮なものです。みずみずしく生き生きとした言葉で伝えなくてはならないと痛感しています。

—園長—



※給食・保健は裏面にあります



給食より



### 「こしょく」について

「こ食」と言う言葉を聞いたことがありますか？最近の食生活で問題となっているのが様々な「こ食」です。当てはまる「こ食」がないか確認してみましょう。心配な7つの「こ食」とは…

「孤食」…一人で食事をする事。孤独感や寂しさを感じる。

「濃食」…味の濃い料理を食べる事。塩分の過剰摂取や味覚障害を起こす原因に。

「個食」…家族で食卓を囲んでいるのに、各自違うものを食べる事。

「固食」…同じものばかり食べる事。食事バランスが悪くなる。

「小食」…食事の量が少ないこと。

「粉食」…パンや麺などの粉ものばかり食べる事。軟食になり咀嚼力が弱くなる。

「子食」…子どもだけで食事をする事。

家庭で食卓を囲み、同じものを食べて「美味しいね」と会話をしながら食事をする事は心身ともに健康に過ごすうえで大切なことです。またマナーを伝える大切な場でもあります。

「こ食」は好き嫌いを増やすことや、肥満や生活習慣病を引き起こす原因にもなりますので「共食(家族そろっての場)」を大切にしていきましょう。



保健より



昨年はコロナ禍の中でインフルエンザに感染する人が少ないという報告でしたが、重症化すると怖い病気なので感染予防に注意しましょう。

症状:突然38~40℃の高熱が出て、悪寒や頭痛、のどの痛み、せき、鼻水のほか、筋肉痛や関節痛等の症状を伴います。発熱は通常3~7日間持続。重い合併症としてインフルエンザ脳症などがあり、けいれんや意識障害を起こし、後遺症が残ることもあります。インフルエンザかな？と思ったら…

できるだけ早く医師の診断を受けましょう

睡眠をとり安静にしましょう

消化の良いものをとりましょう

高熱により脱水症状を起こしやすいため、水分の補給をこまめに行いましょう

体を冷やさないように室温は20~22℃にしましょう

乾燥は呼吸器を痛めるため湿度は60~70℃位にしましょう

※インフルエンザは発熱してから5日経過するまでは登園禁止です。医師の指示に従いましょう。

また回復後の登園には「登園届」が必要です。

※保育園でも、子ども達自身でも身を守るよう手洗い指導をしています。ご自宅でも是非一緒に手洗いしてみてください。